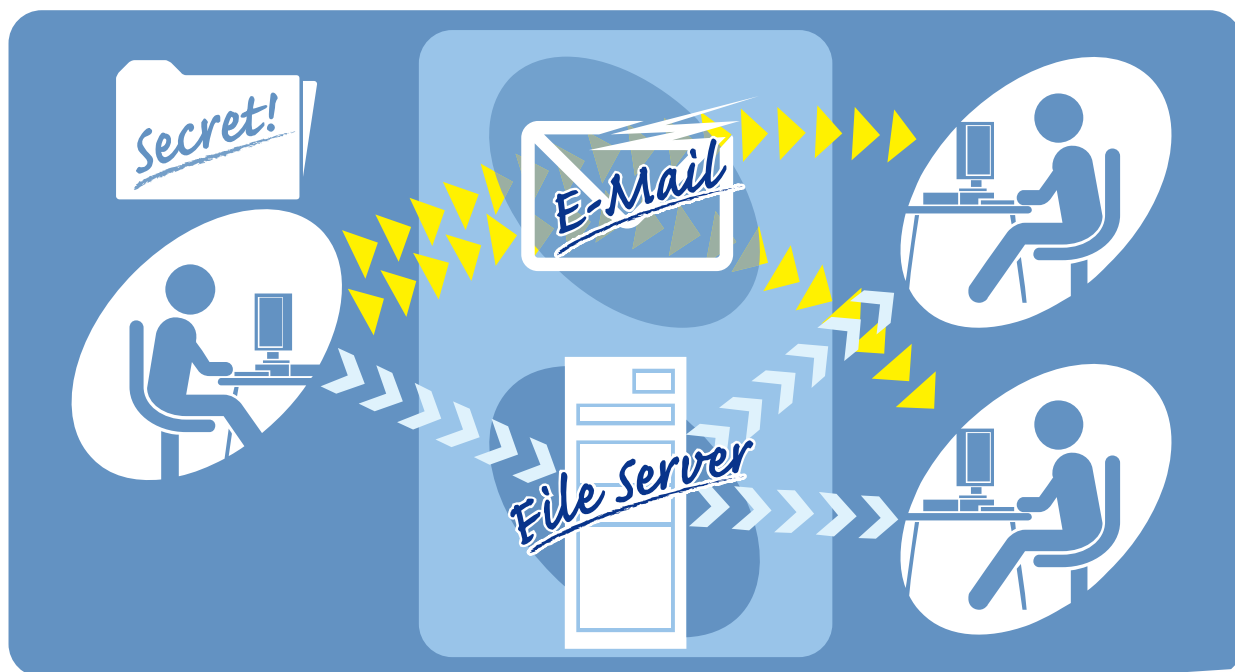


ファイル暗号化ソフト

FILE LOCK IV



重要ファイルの情報が漏れていませんか？
あなたの情報を守ります！

FILE LOCK IVは、

- Windowsパソコン★の任意のフォルダ・ファイルを**作成者のパスワードと閲覧者を指定して暗号化**します。
- 閲覧者は、**暗号化ファイルをクリックし、自身のパスワードを指定するだけで閲覧**できます。指定された閲覧者以外は復号化できません。

FILE LOCK IV Plusは、

- FILE LOCK IVの機能に**自己復号EXE作成機能**を追加。共通パスワードを指定して**FILE LOCK IVをインストールしていない利用者にも暗号化ファイルを送る**ことができます。

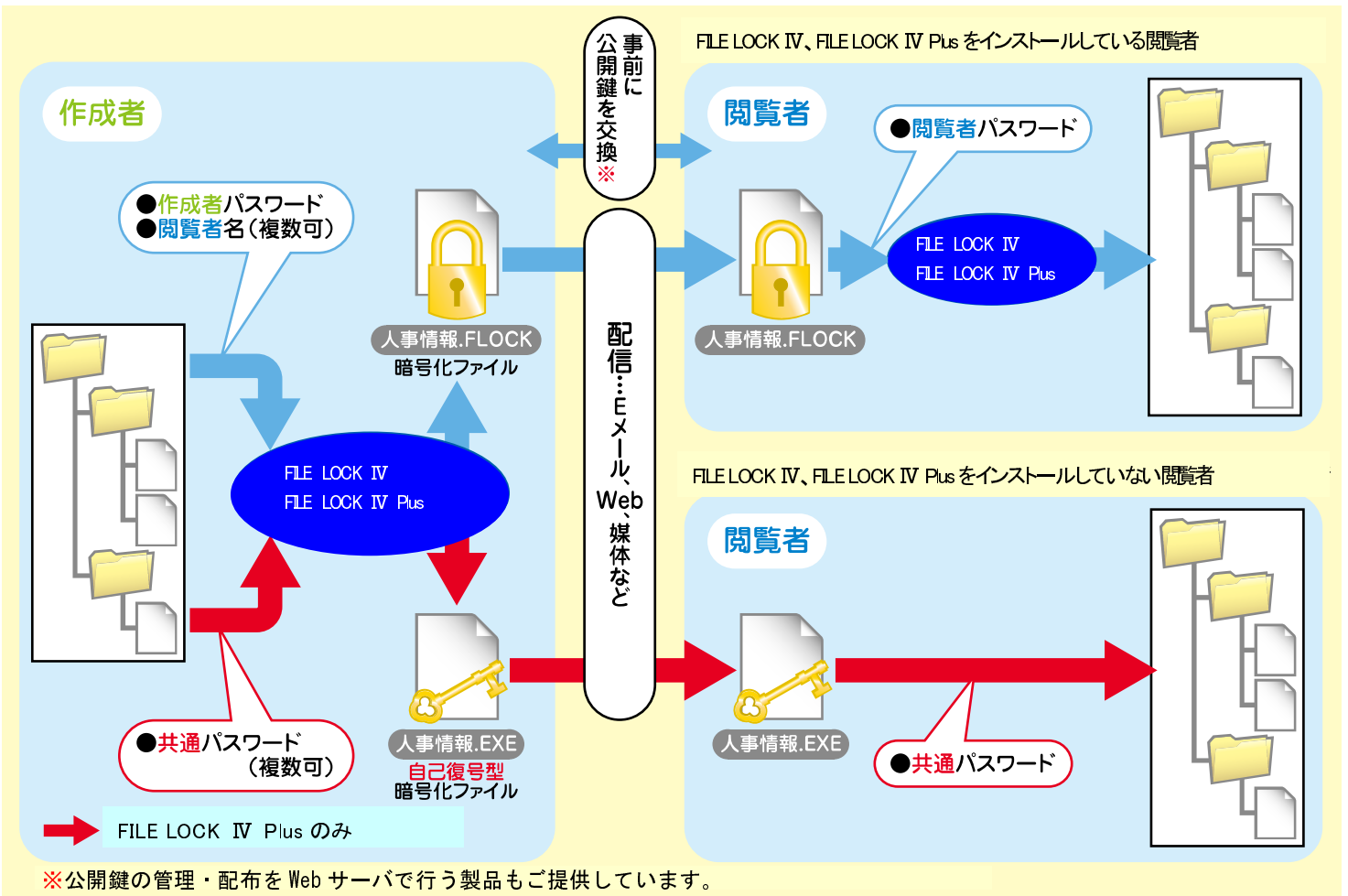
FILE LOCK IV、FILE LOCK IV Plusを使うには、

- **インストーラを実行し、パスワードを決めるだけ。**
すぐにご自身のパソコンのフォルダ・ファイルの暗号化に使用できます。
- **公開鍵をメールで送る機能※により、閲覧者と簡単に公開鍵の共有**ができ、**守秘ファイル**を交換できます。

★コマンドライン版、ライブラリ版はLinuxも対応可能です。(作成される暗号ファイルはWindows版と互換です)

※組織的なご利用に有効な、**公開鍵をWebサーバで管理・配布するバージョン**もあります。詳細はお問い合わせください。

● FILE LOCK IV、FILE LOCK IV Plus を用いた暗号化コンテンツ配信



●特徴

- 暗号化ファイルを添付ファイルとして、指定した閲覧者宛のメール送信を行う専用メーラが付属しています。
- 閲覧者の公開鍵管理は、自PCを用いたパーソナル版／鍵管理サーバによるエンタープライズ版をご提供しています。用途に応じて、個人利用から組織への適用まで、導入・運用がスムーズに行えます。
- 配布コンテンツには作成者の電子署名を自動的に付加し、作成者が本人であること、改ざんされていないことを保証します。
- コマンドライン版、ライブラリ版により、任意のアプリケーションへの FILE LOCK IV 機能の組み込みができます。

●製品ラインナップ

- FILE LOCK IV
- FILE LOCK IV Plus
- FILE LOCK IV 公開鍵管理サーバ版
- FILE LOCK IV Plus 公開鍵管理サーバ版
- FILE LOCK IV コマンドライン版
- FILE LOCK IV ライブラリ

※コマンドライン、ライブラリは Windows 版、Linux 版があります。
 ※本製品を用いたソリューション提案・開発を請けたまわります。
 ※従来の FILE LOCK II については、ライセンスのみ販売いたします。

●暗号方式

共通鍵方式	暗号アルゴリズム	Camellia(256ビット)
公開鍵方式	暗号アルゴリズム	楕円DH(256ビット)
電子署名	暗号アルゴリズム	DSA(1024ビット)

マシン	Pentium(100MHz)以上
OS	Windows 2003/2008 / XP/Vista/7 Linux(コマンドライン、ライブラリのみ)

NTT-ATシステムズ株式会社
 ソフトウェア部
 担当:FILE LOCK担当
 Email: product-info@ats.ntt-at.co.jp